

1 題材名 紙から発見！ふしぎななかまたち

2 題材の目標

紙などの身近な材料の感触を味わいながら、表したいことを見付けて、好きな色を選んだり、いろいろな形を考えたりしながら立体に表す。

3 題材について

(1) 題材観

本題材は、小学校学習指導要領解説図画工作編（平成20年8月）第1学年及び第2学年の内容A表現(2)イ「好きな色を選んだり、いろいろな形をつくって楽しんだりしながら表すこと。」とB鑑賞「感じたことを話したり、友人の話の聞いたりするなどして、形や色、表し方の面白さ、材料の感じなどに気付くこと」を主な内容としている。

紙の感触や手がけることで変わる形の面白さから発想を広げて、表したいことを見付け、新聞紙を中心の材料として構造物をつくり、それに様々な材料で飾り付けをしながら立体に表す活動である。好きな色を選んだり、いろいろな形をつくって楽しんだりしながら表すことで、児童が意欲的に取り組める題材であると考えられる。

(2) 児童の実態（児童数 男\*人 女\*人 計\*人） 調査日\*月\*日から\*日実施

本学級の児童は、図画工作への関心が高く、表現活動開始とともに意欲的に製作活動に取り組む様子が見られる。工作に表す活動における実態を分析したところ、選んだ形や色などを使って表し方を考えたり、試したりすることができた児童は\*人いた。しかし、材料の形や感じなどを十分に気付くことができた児童は\*人、感じたことを生かしながら表すことができた児童は\*人と半数以下であった。また、表現の途中で何をつくったらよいか分からなくなり、作品を完成することができなかつた児童も\*人いた。これらのことから、材料の形や色などをとらえ、工夫して表すことができていない児童がいることが分かった。

(3) 指導観

本題材では、表現活動の学習過程に、材料や作品などの形や色などに体全体でかかわり、感じ取ったことを伝え合う鑑賞活動を位置付ける。まず、題材の導入において、新聞紙に体全体でかかわり、材料の形や感じなどをとらえる活動を設定する。次に、様々な形や色の材料を用意し、思いのままに触れたり手がけたりする活動を設定することで、児童の形や色などへの気付きを高めていく。さらに、表現と鑑賞が分け難いこの時期の発達特性を考慮し、感じたことを話したり聞いたりする活動を設定する。表現活動の中に鑑賞活動を形式的に設定するのではなく、表現をしながら友人と話したり聞いたりできるような鑑賞を行うことで、児童の感じ方や表現への思いが広がるようにしていく。その際に、感じたことや表現への思いを、低学年の児童にも無理なく記録できるようにワークシートを工夫する。材料や製作中の作品を見たり触ったりしたときの気付きや、そこから生まれたイメージなどをワークシートに記録し、その記述を基に表現への思いを確かめたり広げたりできるようにする。以上のような手立てを講じることで、児童は、自分の感覚や活動を通して、形や色などをとらえながら、工夫して表すことができるのではないかと考える。

4 題材の評価規準

観点	造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
評価規準	①材料の形や色などから表したいことを見付け、工夫しながら表そうとしている。 ②材料や作品の形や色、表し方の面白さなどを感じ取ろうとしている。	①紙などの感触や手がけることで変わる形の面白さから、表したいことを思い付いている。 ②表したいことを立体に表すために、好きな色を選んだり、いろいろな形を考えたりしている。	①材料の感触を味わいながら、形や色などを工夫して表している。	①材料に体全体でかかわり、形や色、表し方の面白さなどに気付いている。 ②お互いの作品を見せ合いながら、形や色、表し方の面白さに気付いている。

5 指導と評価の計画（5時間扱い）

次	時	学 習 活 動	評 価 の 観 点			学 習 活 動 に 即 した 評 価 規 準 ( ) は 評 価 方 法
			関	発	技 鑑	
1	1 2	○ 新聞紙に体全体でかかわり、思い付くことを次々と試す。	○	○	○	・材料の形や色などから表したいことを見付け、工夫しながら表そうとしている。 (観察, 対話, ワークシート)
		○ 新聞紙の感触や手がけることで変わる形の面白さから、表したいことを設計図にかき、立体に表す。				・紙などの感触や手がけることで変わる形の面白さから、表したいことを思い付いている。 (観察, 対話, 設計図)
	3	○	○	○	・表したいことを見付け、工夫しながら表そうとしている。(観察, 対話, 作品) ・表したいことを立体に表すために、好きな色を選んだり、いろいろな形を考えたりしている。(観察, 対話, 作品)	
	4	○	○	○	・材料の感触を味わいながら、形や色などを工夫して表している。 (観察, 対話, 作品) ・つくりつつある作品の形や色、表し方の面白さなどに気付いている。 (観察, 対話, ワークシート)	
2	1	○ 遊びながらふしぎななかまたちを紹介し合う。	○	○	○	・材料や作品の形や色、表し方の面白さなどを感じ取ろうとしている。 (観察, 対話) ・お互いの作品を見せ合いながら、形や色、表し方の面白さに気付いている。 (観察, 対話, ワークシート)

6 本時の学習

【第1, 2時】

(1) 目標

新聞紙に体全体でかかわり、感触や手がけることで変わる形の面白さから、表したいことを設計図にかき、立体に表す。

(2) 準備・資料

新聞紙、はさみ、セロハンテープ、ボンド、布ガムテープ、ビニルテープ、ホッチキス、ストレッチフィルム、わざ発見カード、振り返りカード

(3) 展開

学 習 活 動 ・ 内 容	指 導 上 の 留 意 点 (◎ 評 価)
<p>1 学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>新聞紙からふしぎななかまたちを発見しよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞紙でつくった見本を見せることで、児童が材料として持ってきた新聞紙を使って、ふしぎななかまたちをつくることを知らせる。</li> <li>・よく揉んで柔らかくした新聞紙の見本を見せることで、新聞紙でいろいろな表現ができることを知らせ、やってみたいという意欲を高める。</li> <li>・体を動かしたり、はさみを使ったりする活動なので、安全について十分に注意するように伝える。</li> <li>・「紙かみランド」では、新聞紙に体全体でかかわり、いろいろな表現を試すことを伝える。</li> <li>・いろいろな表現方法を試しながら、友人と形や感触、表し方の面白さなどについて伝え合うことを確認する。</li> <li>・新聞紙と十分にかかわり、様々な試みのできる時間を保証する。</li> <li>・新聞紙の感触や手がけることで変わる形の面白さを、児童自身で見付け、感じ取っていることに共感的に寄り添う。</li> <li>・「紙かみランド」で見付けたり体験したりした表現方法を、「わざ発見カード」に記録させることで、ふしぎななかまたちづくりに生かせるようにする。</li> <li>◎ 材料の形や色などから表したいことを見付け、工夫しながら表そうとしている。 &lt;造形への関心・意欲・態度&gt; (観察, 対話, ワークシート)</li> <li>・いろいろな表現方法を見付けることができない児童には、友人の表現方法を紹介してもらうことで、多様な表現を試すことができるようにする。</li> <li>・児童の気付きを基に、多様な表現方法を全体に紹介することで、自分のつくりたいことへの思いが広がるようにする。</li> </ul>
<p>2 「紙かみランド」で新聞紙に体全体でかかわり、思い付く表現方法を次々と試す。</p> <p>&lt;形のくふう&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふわふわのわざ</li> <li>・ゴワゴワのわざ</li> <li>・びりびりのわざ</li> <li>・ほうきのわざ</li> <li>・うろこのわざ</li> <li>・クルクルのわざ</li> <li>・ねじねじのわざ</li> </ul>	

3 自分がつくりたいふしぎななかまたちの設計図をかく。

4 新聞紙を使って、ふしぎななかまたちをつくる。

5 「紹介タイム①」を行う。

6 本時の学習を振り返る。

・新聞紙などの感触や手がけることで変わる形の面白さから、表したいことを設計図にかくことを知らせる。

・どこにどんな新聞紙の表現方法を使うのか、「わざ発見カード」や「紙かみランド」を思い起こしながらかくよう伝える。

・「紙かみランド」で試したどの新聞紙の表現方法を使えば、自分の表したいことに近付くのかを考えながら立体に表すことを伝える。

・新聞紙の固まりをつないだり、組み合わせたりする際、ストレッチフィルムを使うと、簡単に固定でき、作り直しもしやすいことを助言する。

・ボンド、セロハンテープ、ビニルテープ、ホッチキスなどを準備し、使い方を工夫するように伝える。

◎ 紙などの感触や手がけることで変わる形の面白さから、表したいことを思い付いている。

＜発想や構想の能力＞（観察，対話，ワークシート，作品）

・自分がつくりたいことをどのような紙の表現で表したらよいか迷っている児童には、もう一度「紙かみランド」で試してもよいことを助言する。

・作品で遊びながら、自分のつくったふしぎななかまたちをグループの友人に紹介する。

・振り返りカードに、紙の感触や手がけることで変わる形の面白さなどを感じ取りながら、ふしぎななかまたちをつくることができたかを振り返るように促す。

・次時の活動内容を知らせる。

【第3時】

(1) 目標

好きな色を選んだり、いろいろな形を考えたりしながら、工夫して表す。

(2) 準備・資料

新聞紙、色画用紙、お花紙、折り紙、片面段ボール、スズランテープ、セロハンテープ、はさみ、ホッチキス、のり、ボンド、わざ発見カード、設計図、振り返りカード

(3) 展開

学習活動・内容	指導上の留意点（◎評価）
<p>1 学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>紙やいろいろなざいりょうから、ふしぎななかまたちを発見しよう。</p> </div> <p>2 「紙かみランド」で、紙などのいろいろな材料の多様な表現方法を体験する。          &lt;形のくふう&gt;          ・ふわふわのわざ          ・ゴワゴワのわざ          ・びりびりのわざ          ・ほうきのわざ          ・うろこのわざ          ・クルクルのわざ          ・ねじねじのわざ          &lt;色のくふう&gt;          ・組み合わせ          ・イメージするものに合う色</p> <p>3 「紹介タイム②」を行い、全員でいろいろな材料の多様な表現方法について伝え合う。</p> <p>4 いろいろな材料の多様な表現方法について、ワークシートにまとめる。</p> <p>5 本時の学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よく揉んで柔らかくしたお花紙と新聞紙の両方の見本を見せ、二つを比較させることで、同じ技法でも、材料によって表現に違いができることに気付かせる。</li> <li>・いろいろな紙を紹介することで、紙の多様な表現方法をから形や色、表し方の面白さなどを発見することを知らせる。</li> <li>・いろいろな紙の表現方法を、ふしぎななかまたちの飾りに生かすことを伝えることで、やってみたいという意欲を高める。</li> <li>・「紙かみランド」で、いろいろな材料に体全体でかかわり、いろいろな表現を試すことを伝える。</li> <li>・体を動かしたり、はさみを使ったりする活動なので、安全について十分に注意するように伝える。</li> <li>・色の工夫は、自分の表したいふしぎななかまたちに合う色を考えて、折り紙を選択する場所にする。</li> <li>・折り紙は、たくさん色を準備しておくことで、自分の好きな色を選択できるようにする。</li> <li>・折り紙は、自分の表したいふしぎななかまたちに合わせて、単色でも組み合わせてもよいことを知らせる。</li> <li>・いろいろな紙の表現方法を試しながら、友人と形や色、表し方の面白さなどについて伝え合うことを知らせる。</li> <li>・いろいろな材料と十分にかかわり、様々な試みのできる時間を保証する。</li> <li>・材料コーナーを教室前後に、「紙かみランド」を教室の周囲に配置することで、児童が教室の中を動き回りながら製作活動をするようにさせ、他のグループの友人とも交流がしやすいように場の設定を工夫する。</li> <li>・材料の感触や手がけることで変わる形の面白さを、児童自身で見付け、感じ取っていることに共感的に寄り添う。</li> <li>◎ 表したいことを見付け、工夫しながら表そうとしている。              &lt;造形への関心・意欲・態度&gt;（観察、対話、作品）</li> <li>・児童の気付きを基に、多様な表現方法を全員に紹介することで、自分がつくりたいことへの思いが広がるようにする。</li> <li>・つくった作品を見せ合いながら紹介することで、より表現方法を伝わりやすくする。</li> <li>・気付いた表現方法を、「わざ発見カード」や設計図に記録させることで、ふしぎななかまたちへの表現方法に生かせるようにする。</li> <li>◎ 表したいことを立体に表すために、好きな色を選んだり、いろいろな形を考えたりしている。              &lt;発想や構想の能力&gt;（観察、対話、ワークシート、作品）</li> <li>・気付いた表現方法がなかなか書けない児童には、自分の気に入った表現方法を書くように助言する。</li> <li>・振り返りカードに、工夫しながら表そうとし、好きな色を選んだり、いろいろな形を考えたりできたかを振り返るように促す。</li> <li>・次時の活動内容を知らせる。</li> </ul>

【第4時】

(1) 目標

つくりつつある作品の形や色、表し方の面白さなどに気付きながら、形や色などを工夫して表す。

(2) 準備・資料

新聞紙、色画用紙、お花紙、折り紙、片面段ボール、スズランテープ、セロハンテープ、はさみ、ホッチキス、のり、ボンド、わざ発見カード、設計図、振り返りカード

(3) 展開

学習活動・内容	指導上の留意点（◎評価）
<p>1 学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ふしぎななかまたちを、いろいろなざいりょうでくふうしよう。</p> </div> <p>2 「バージョンアップタイム」として、ふしぎななかまたちを工夫してつくる。</p> <p>3 「紹介タイム③」を行い、グループで作品の工夫について伝え合う。</p> <p>4 「バージョンアップタイム」として、ふしぎななかまたちを更に工夫してつくる。</p> <p>5 本時の学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時に試したいろいろな材料と多様な表現方法を生かして、ふしぎななかまたちに工夫を加えてつくることを知らせる。</li> <li>・新聞紙だけでつくられた作品と新聞紙だけでなく他の材料も加えてつくられた作品とを比較させることで、更に工夫する意欲を高める。</li> <li>・本時の活動の流れを確認することで、つくる時間とグループ鑑賞する時間について見通しをもてるようにする。</li> <li>・様々な材料から生まれる形や色などから、自分の表したいことをイメージし、つくりかえ、つくり続けることを確認する。</li> <li>・多様な表現方法の中から、自分の表したいことが表現できるような方法や材料を選択するよう助言する。</li> <li>・いろいろな材料や表現方法を試しながら、友人と形や色、表し方の面白さなどについて伝え合うことを知らせる。</li> <li>・いろいろな材料の多様な表現方法について、グループの友人と共有し合うことを知らせる。</li> <li>・つくった作品を見せ合いながら紹介することで、より表現方法が伝わりやすくなることを助言する。</li> <li>・気付いた表現方法を、「わざ発見カード」や設計図に記録させることで、ふしぎななかまたちへの表現方法に生かせるようにする。</li> <li>・友人と作品を鑑賞し合う際には、形や色、表し方の面白さなどを視点にしながらか紹介し合えるよう、鑑賞の視点を掲示する。</li> <li>・作品のよいと感じた理由を、黄色の付箋に書いて友人に渡すよう、児童に助言する。</li> <li>・作品のよいと感じた理由を伝えながら、友人に「ほめほめカード」と黄色の付箋を渡すよう、児童に伝える。</li> <li>・友人から受け取った黄色の付箋は、ワークシートに貼るよう児童に助言することで、形や色などの気付きが蓄積できるようにする。</li> <li>・紹介し合うときには、自分の表したい思いや表現の工夫を伝えやすくなるように、作品になりきって話をするように助言する。</li> </ul> <p>◎ 材料に体全体でかかわり、形や色、表し方の面白さなどに気付いている。 &lt;鑑賞の能力&gt;（観察，対話，ワークシート）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友人の作品のよいところがなかなか見付けられない児童は、他の友人の発言に共感したところでもよいことを助言する。</li> <li>・発見タイムの様子は、ボイスレコーダーで録音し、個々の気付きについて評価できるようにする。</li> <li>・「紹介タイム③」で伝え合った、形や色、表し方の面白さなどを生かして、つくりかえ、つくり続けることを知らせる。</li> <li>・様々な材料で多様な表現方法を試しながら、友人と形や色、表し方の面白さなどについて教え合うことを知らせる。</li> <li>・いろいろな材料とたっぷりかかわり、様々な試みのできる時間を保証する。</li> </ul> <p>◎ 材料の感触を味わいながら、形や色などを工夫して表している。 &lt;創造的な技能&gt;（観察，対話，作品）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品への表現を広げることができない児童には、児童が大切にしたいと感じているところやうまく表現できていないと感じているところを工夫できるよう助言する。</li> <li>・振り返りカードに、形や色、表し方の面白さなどに気付きながら、形や色などを工夫して表すことができたかを振り返るよう促す。</li> <li>・次時の活動内容を知らせる。</li> </ul>

【第5時】

- (1) 目標  
材料や作品の形や色，表し方の面白さなどを感じ取る。
- (2) 準備・資料  
作品，振り返りカード
- (3) 展開

学習活動・内容	指導上の留意点（◎評価）
<p>1 学習課題をつかむ。 あそびながら ふしぎななかまたちをしょうかいしよう。</p> <p>2 「紹介タイム④」を行う。 (1)グループ鑑賞</p> <p>(2)全体鑑賞</p> <p>3 本時の学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友人の作品の形や色，表し方の面白さなどに気付くことがねらいであることを知らせる。</li> <li>・グループで遊びながら，自分のつくったふしぎななかまたちを友人に紹介する。</li> <li>・友人と作品を鑑賞し合う際には，形や色，表し方の面白さなどを視点にしながらいちいち紹介し合えるよう，鑑賞の視点を掲示する。</li> <li>・作品の形や色，表し方の面白さを見付けられない児童には，対話を通して具体的な思いがもてるように支援する。</li> <li>◎ 材料や作品の形や色，表し方の面白さなどを感じ取ろうとしている。 &lt;造形への関心・意欲・態度&gt;（観察，対話）</li> <li>・全体で，一人一人がつくったふしぎななかまたちについて，工夫したところを述べながら紹介することを知らせる。</li> <li>◎ お互いの作品を見せ合いながら，形や色，表し方の面白さに気付いている。 &lt;鑑賞の能力&gt;（観察，対話，ワークシート）</li> <li>・振り返りカードで活動を振り返り，形や色，表し方の面白さについて気付くことができるようにする。</li> </ul>